



## 令和3年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

令和2年6月9日

上場会社名 株式会社きんえい 上場取引所 東  
コード番号 9636 URL <https://www.kin-ei.co.jp>  
代表者 (役職名)取締役社長 (氏名)田中 耕造  
問合せ先責任者 (役職名)取締役経理部長 (氏名)藤下 修 (TEL)06(6632)4553  
四半期報告書提出予定日 令和2年6月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 令和3年1月期第1四半期の業績(令和2年2月1日～令和2年4月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
3年1月期第1四半期	651	△30.2	△1	—	△2	—	△2	—
2年1月期第1四半期	933	4.6	84	28.8	90	23.6	60	22.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
3年1月期第1四半期	△1.07	—
2年1月期第1四半期	21.69	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
3年1月期第1四半期	5,286	2,081	39.4
2年1月期	5,919	2,113	35.7

(参考) 自己資本 3年1月期第1四半期 2,081百万円 2年1月期 2,113百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2年1月期	—	0.00	—	10.00	10.00
3年1月期	—	—	—	—	—
3年1月期(予想)	—	0.00	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

令和3年1月期の期末配当につきましては、業績予想の算定が困難なため、令和2年3月13日に公表した予想値を一旦取り下げ未定とさせていただき、配当予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

### 3. 令和3年1月期の業績予想(令和2年2月1日～令和3年1月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

令和3年1月期の第2四半期(累計)および通期業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点において合理的な業績予想の算定が困難なため、令和2年3月13日に公表した予想値を一旦取り下げ未定とさせていただき、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	3年1月期1Q	2,821,000株	2年1月期	2,821,000株
② 期末自己株式数	3年1月期1Q	32,287株	2年1月期	32,287株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	3年1月期1Q	2,788,713株	2年1月期1Q	2,788,865株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(追加情報)	6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により急速に悪化し、極めて厳しい状況のうちに推移しました。

この間当社におきましては、当社施設を通じた感染症拡大を防止するため細心の注意を払いながら、集客と収入の確保を目指しましたが、大阪府による週末外出自粛要請等に伴い来館者が減少し、さらに4月7日には政府から「緊急事態宣言」が発せられたため、翌8日から「あべのアポロシネマ」ほか該当施設の臨時休館を実施するに至りました。なお、「あべのアポロシネマ」は、その後の緊急事態宣言解除に伴い、感染予防策として「座席の間隔を空ける」「事前チケット販売やレイトショーを休止する」等を講じた上で、5月29日に営業を再開しております。

各セグメントの状況は次のとおりであります。

シネマ・アミューズメント事業部門におきましては、“犬鳴村”“スマホを落としたけなのに2”“ヲタクに恋は難しい”“パラサイト 半地下の家族”“仮面病棟”などの話題作を上映する一方、販売促進活動を推進しましたが、その後の長期に渡る休館のため、収入合計は197,403千円（前年同期比58.4%減）となり、営業原価控除後のセグメント損失は49,193千円（前年同期セグメント利益38,903千円）となりました。

不動産事業部門におきましては、感染症拡大防止のため一部店舗の休業や営業時間短縮があったため、このセグメント全体の収入合計は454,246千円（前年同期比1.2%減）となり、セグメント利益は127,905千円（前年同期比6.9%増）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高合計は651,649千円（前年同期比30.2%減）となり、費用面におきましても、部門別業績管理の徹底により、諸経費全般に亘って鋭意削減に努めました結果、営業損失は1,937千円（前年同期営業利益84,808千円）となり、経常損失は2,240千円（前年同期経常利益90,911千円）、四半期純損失は2,982千円（前年同期四半期純利益60,483千円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、短期貸付金の減少等により前期末に比較して632,479千円減少し、5,286,562千円となりました。負債は、設備関係未払金の減少等により、前期末に比較して600,388千円減少し、3,204,751千円となりました。純資産は、配当金の支払に加え四半期純損失の計上等により利益剰余金が減少したため、前期末に比較して32,090千円減少し、2,081,810千円となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大による政府の「緊急事態宣言」及びこれを受けた大阪府の「緊急事態措置」に基づき、本年4月8日から「あべのアポロシネマ」ほか該当施設の臨時休館を実施しました。

その後、緊急事態宣言解除に伴い、感染予防策として「座席の間隔を空ける」「事前チケット販売やレイトショーを休止する」等を講じた上で、5月29日から「あべのアポロシネマ」の営業を再開しておりますが、依然として予断を許さない現時点では、業績予想の数値について合理的な算定が困難なため、一旦取り下げ未定とさせていただきます。今後につきましては、新型コロナウイルス感染症の動向を見極めながら、業績予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

また、通期の業績予想を未定とすることから、期末配当予想も同様に未定とし、配当予想の開示が可能となった時点で速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和2年4月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	93,351	48,570
売掛金	116,226	93,149
商品	4,920	4,740
その他	654,076	126,845
流動資産合計	868,575	273,305
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,816,528	2,770,630
機械及び装置(純額)	36,485	34,457
工具、器具及び備品(純額)	124,325	131,178
土地	1,123,748	1,123,748
有形固定資産合計	4,101,087	4,060,014
無形固定資産	105,114	109,696
投資その他の資産		
差入保証金	803,660	803,660
その他	40,603	39,884
投資その他の資産合計	844,264	843,545
固定資産合計	5,050,466	5,013,256
資産合計	5,919,041	5,286,562
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	139,684	31,647
短期借入金	250,000	250,000
1年内返済予定の長期借入金	56,250	75,000
未払法人税等	36,021	1,865
賞与引当金	12,100	24,900
その他	793,737	345,058
流動負債合計	1,287,793	728,471
固定負債		
長期借入金	543,750	525,000
退職給付引当金	101,896	96,585
受入保証金	1,577,776	1,560,771
資産除去債務	290,000	290,000
その他	3,924	3,924
固定負債合計	2,517,346	2,476,280
負債合計	3,805,140	3,204,751

(単位：千円)

	前事業年度 (令和2年1月31日)	当第1四半期会計期間 (令和2年4月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	564,200	564,200
資本剰余金	24,155	24,155
利益剰余金	1,634,168	1,603,298
自己株式	△110,462	△110,462
株主資本合計	2,112,061	2,081,191
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,839	618
評価・換算差額等合計	1,839	618
純資産合計	2,113,900	2,081,810
負債純資産合計	5,919,041	5,286,562

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成31年2月1日 至平成31年4月30日)	当第1四半期累計期間 (自令和2年2月1日 至令和2年4月30日)
売上高	933,618	651,649
営業原価	775,114	572,938
営業総利益	158,504	78,711
一般管理費	73,696	80,648
営業利益又は営業損失(△)	84,808	△1,937
営業外収益		
受取利息	414	286
保険解約返戻金	—	1,043
雑収入	7,910	264
営業外収益合計	8,325	1,594
営業外費用		
支払利息	2,220	1,886
雑支出	2	11
営業外費用合計	2,222	1,898
経常利益又は経常損失(△)	90,911	△2,240
特別損失		
固定資産除却損	3,560	1,323
特別損失合計	3,560	1,323
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	87,350	△3,564
法人税、住民税及び事業税	32,603	138
法人税等調整額	△5,736	△720
法人税等合計	26,867	△581
四半期純利益又は四半期純損失(△)	60,483	△2,982

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期累計期間(平成31年2月1日から平成31年4月30日まで)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	474,010	459,608	933,618	—	933,618
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	474,010	459,608	933,618	—	933,618
セグメント利益	38,903	119,600	158,504	△73,696	84,808

(注) 1 セグメント利益の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益は四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期累計期間(令和2年2月1日から令和2年4月30日まで)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期 損益計算書 計上額 (注)2
	シネマ・アミューズメント事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	197,403	454,246	651,649	—	651,649
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	197,403	454,246	651,649	—	651,649
セグメント利益又は損失(△)	△49,193	127,905	78,711	△80,648	△1,937

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、主に各報告セグメントに配分していない一般管理費(全社費用)であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は四半期損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

(追加情報)

(会計上の見積もり)

新型コロナウイルス感染症拡大による政府の「緊急事態宣言」及びこれを受けた大阪府の「緊急事態措置」に基づき、本年4月8日から「あべのアポロシネマ」ほか当該施設の臨時休館を実施しました。その後、緊急事態宣言解除に伴い、5月29日から「あべのアポロシネマ」の営業を再開しておりますが、依然として予断を許さない状況の下、感染予防策として「座席の間隔を空ける」「事前チケット販売やレイトショーを休止する」等を講じております。このような状況が当事業年度(令和3年1月期)の一定期間にわたり継続し、その後は徐々に回復していくものと仮定しており、当該仮定を会計上の見積り(繰延税金資産の回収可能性、固定資産の減損会計等)に反映した結果、当四半期財務諸表に与える影響はありませんでした。



なお、四半期報告書作成時点で入手可能な情報に基づいて最善の見積りを行っておりますが、今後の実際の推移がこの仮定と乖離する場合には、当社の経営成績及び財政状態に影響を与える可能性があります。